

『NTT 情報労連』～春の女神ギフチョウが飛来する森づくり～

参加：NTT 情報労連約 120 名、もりメイト倶楽部より指導員 12 名

5 月 14 日(土)開催

報告：5 班 塚本宏志

NTT 情報労連主催(情報産業労働組合連合会)『明日アース全国統一環境活動』の一環として、広島では4年振り4回目となる「春の女神ギフチョウが飛来する森づくり」をテーマに森の整備活動を行いました。

当日は NTT グループの労働組合関連の家族を含む約 120 名が参加。10 班に分かれ作業を行いました。1～3 班は日本の固有種であり絶滅危惧種のギフチョウの食草となるサンヨウアオイの苗植え、4～10 班は山道脇の雑木、雑草の伐採を行いました。



開会式は森林公園園林業体験広場にて行いました。

9 時 30 分から開会式。挨拶(主催者、国会議員等)、そして見勢井顧問の活動趣旨説明の後、自然体験指導員・田公たきみ氏によるギフチョウの生態等の解説がありました。時間を押しましたが、その後、各班が現地へ移動。私は 9 班担当の

指導員。山道入口にて自生のサンヨウアオイを見て、本日伐採してはいけないサクラ、コナラの説明を行いました。道具は手鋸のみ、2 人に 1 本の鋸を交替で使用し、手鋸のない人は、伐採した木や草を運び、棚積みしました。ほとんどの参加者は、鋸で木を切るという非日常の作業を楽しみながら熱心に作業を進めたようです。作業後に以前、サンヨウアオイの苗を植えた場所を見学し、11:30 に終了しました。



サンヨウアオイ移植のための地ならしの様子

参加者解散後、道具の手入れを終え、反省会では複数の班で“作業場所にサンヨウアオイが自生していた”との報告があり、近い未来にギフチョウ飛来への期待が膨らみました。